

学校だより



# 平安

12月号

あったかハートで Hey!安心!!

## 見えない心のバケツをいっぱい

学校長 中村 浩子

12月4日(月)から12月10日(日)は人権週間です。平安小学校でも、毎年、人権週間には、人権意識を高められるような取組を行っています。平安小学校の人権週間のねらいは、

低学年「自分の良いところや友達の良いところに気付くことができる」

中学年「お互いの違いを認め合うことができる」

高学年「お互いの違いを認め合い、協力し、高めあうことができる」

です。

人権週間では、一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達の良いところを見付けたりして、それぞれが大切な存在であることを知る大切な一週間です。

自分のどんなところが好きか、クラスの友達のどんなところが好きか、改めて考えてみると、友達のすてきなところにたくさん出会えるかもしれません。一人ひとり良いところ、すてきなところをたくさんもっていて、それが「個性」です。その「個性」はみんな同じではありません。得意なことや苦手なことも人それぞれです。自分と同じではないからといって、それを悪口の材料にするのではなく、個性を認め合いながら、自分や友達のすてきなところをたくさん見付けたいです。一人ひとりが優しい気持ちをもって、困っている人がいたら、それぞれの得意なことを生かして助け合えたら、平安小は安心して楽しく学校生活を送れる場になると思います。この人権週間は、日本だけではなく、世界の色々なところでも「人権」について考える日になっていますので、ぜひ、この人権週間は、特に人権を意識しながら生活してほしいと思います。

平安小学校では、なかよし学年(6年と1年、5年と2年、4年と3年の縦割りグループ)での活動が増えていますが、まだまだ名前呼び合える関係になっていなかったり、困ったことを先生に伝えられても仲間に伝えることが難しかったりしている状況があります。そこで、今年度の人権週間の取組は、「自分の気持ちを伝えることができる人間関係づくり」につながるように、「今つながりのある『なかよし学年』同士の仲を深めること」ができるような取組をそれぞれの上の学年の子どもたちが考え実践することになっています。相手のことを考えながら、どんな遊びになるのか楽しみにしたいと思います。

また、今年度の人権週間では、絵本「しあわせのバケツ」を使った話をする予定です。誰もが持っている見えない心のバケツをいっぱいにするには、どうすればよいかという話です。少しでも、子どもたちがお互いを思いやり、笑顔で過ごせることができるようになることを願いながら。



TOブックス発行「しあわせのバケツ」